

大和証券グループとSDGs

大和証券グループ SDGs 推進オリジナルロゴマーク



持続可能な社会の実現をイメージして社員がデザインしました。これをグループ全体で共有し、SDGs 達成に向けた取組みを進めています。

大和証券グループの概要 (2021年6月1日現在)

- 会社名 株式会社 大和証券グループ本社 (Daiwa Securities Group Inc.)
- 本社所在地 〒100-6751 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウ ノースタワー
- 電話 03-5555-1111 (代表)
- 代表者 執行役社長 中田 誠司

大和証券グループウェブサイト



社会に役立つ
お金の流れをつくる

SDGs (持続可能な開発目標)とは?

SDGsとは、2015年9月の国連サミットにて全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030 アジェンダ」に掲げられた2030年までの国際目標です。「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の頭文字をとって「SDGs」と表記します。

SDGsは、すべての国の社会課題を対象とした17のゴール(下図)と、その課題ごとに設定された達成基準である169のターゲットから構成されます。このゴールとターゲットによって、包括的で持続可能な社会の構築を目指すものです。

SDGsでは、貧困や飢餓から環境問題、働き方まで幅広い課題が網羅されています。そのため、途上国だけの問題ではなく、日本も含む先進国のあり方を問い、その取り組みの過程で「誰一人取り残さない」ことを強調しているのが特徴です。



持続可能な社会を目指し「2030Vision」策定



株式会社大和証券グループ本社
執行役社長 (CEO)

中田 誠司

2020年度は、コロナ禍を契機としてサステナブルファイナンスに対する関心が高まりました。大和証券グループとしては企業と投資家の架け橋としての社会的使命を再認識し、資産形成におけるSDGsおよびESGへの理解を深めていくことで、持続可能な資金循環を促進していきたいと思えます。

2030年に向け、サステナブルな社会の実現のために当社グループが果たすべき役割を見据え、「2030Vision」を策定しました。Visionに込めた私たちの想いに共感いただき、全てのステークホルダーに必要とされ続ける存在となるべく、グループを挙げて取り組んでまいります。



株式会社大和証券グループ本社
取締役 兼 執行役副社長 海外担当 兼 SDGs担当

伊藤 礼子

コロナ禍により、世界中が新しい社会のあり方を模索し、変化し続けています。企業も例外ではありません。当社グループがこれから先の時代も社会から必要とされる企業であるために、今後の潮流を見据えたビジョンを掲げ、実践していくことが重要です。

新たに策定した当社グループの経営ビジョン「2030Vision」は、SDGsの達成期限でもある2030年に向けて当社グループが目指すべき姿です。

「貯蓄からSDGsへ」をキーワードに、全役職員が一丸となり、“資金循環の仕組みづくりを通じたSDGsの実現”に、積極的に取り組んでまいります。

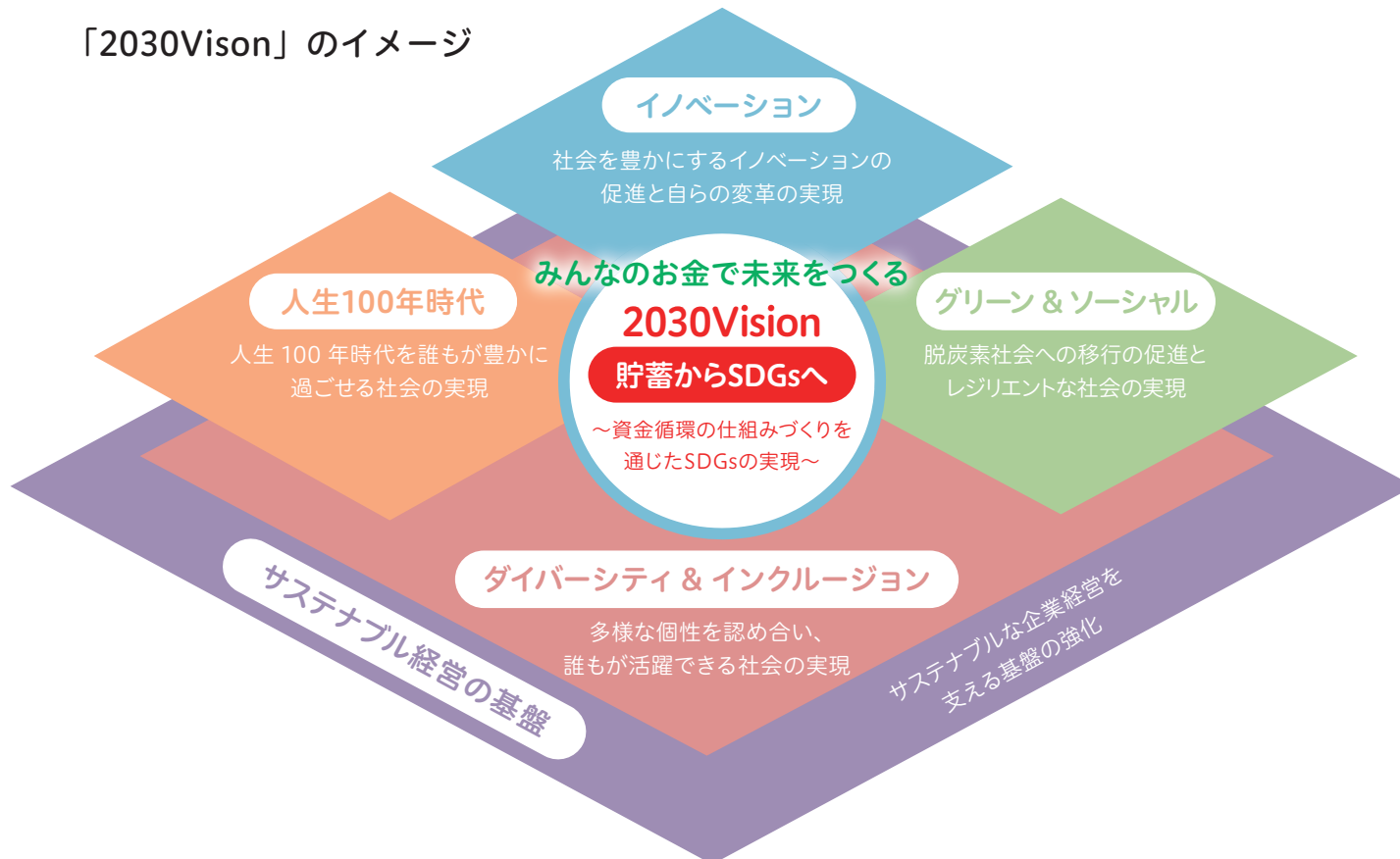
2030Vision について

経営ビジョン「2030Vision」では、「貯蓄からSDGsへ」をキーワードに、“資金循環の仕組みづくりを通じたSDGsの実現”を目指します。

特に注力すべき重点分野・重点課題を「マテリアリティ」として特定しました。

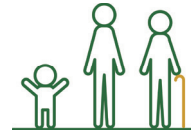
また、新中期経営計画は「2030Vision」の達成に向けた当初3年間の戦略であり、その中で進捗を管理するKPIを設定しています。

「2030Vision」のイメージ



「2030Vision」におけるマテリアリティ

重点分野



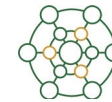
人生100年時代



イノベーション



グリーン & ソーシャル



ダイバーシティ & インクルージョン



サステナブル経営の基盤

重点課題

1. 豊かな人生100年時代の実現に向けた家計の資産形成・保全のサポート
2. 民間資金による地方活性化の実現
3. アジア地域の経済成長を金融面から支援

4. 社会を豊かにするイノベーションの実現に向けた企業の新陳代謝の加速支援
5. 新たな付加価値創出に向けた事業ポートフォリオの変革
6. 唯一無二の金融プラットフォーマーとして社会の変革をリード

7. 脱炭素社会の実現を支援するグリーンファイナンス/トランジションファイナンスの促進
8. 持続可能な社会の実現に資する新たな金融商品・サービスの開発・提供

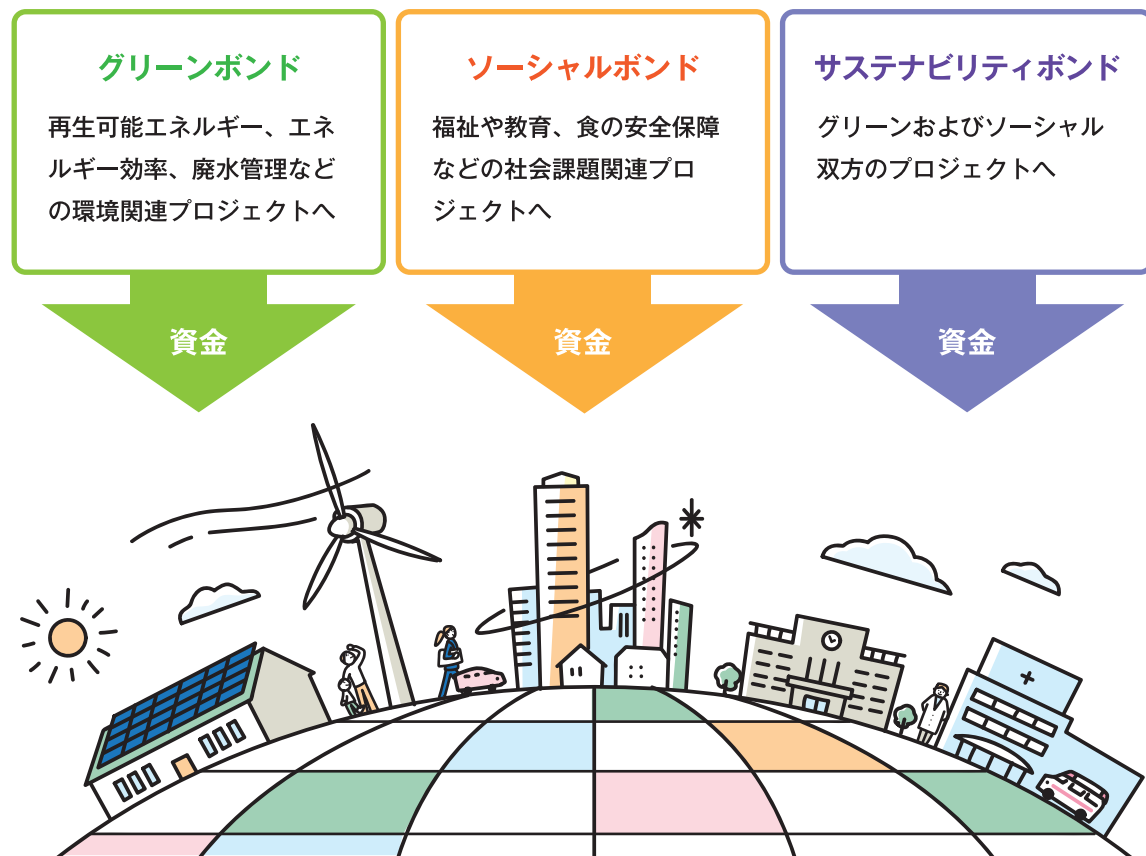
9. 付加価値を提供できる人材の育成
10. 多様な個性を認め合い、誰もが活躍できる組織の構築

11. 健全で透明性の高い経営基盤の強化
12. 金融・資本市場の維持発展をリード
13. 次世代につなぐ美しい地球環境の創造
14. より良い未来のコミュニティ・社会の実現



脱炭素社会への移行の促進とレジリエントな社会の実現に向け、社会課題の解決に資する金融商品・サービスの提供に注力していきます。また、再生可能エネルギー分野におけるアドバイザリー業務や事業投資に積極的に取り組んでいきます。

SDGs債イメージ



SDGs 関連ファンドのラインナップ拡充

お客様のニーズにあわせたSDGs投資が可能になるようSDGs関連ファンドのラインナップを拡充しています。

2020年7月には、「Society 5.0」をテーマにしたファンド「ダイワSociety 5.0関連株ファンド」の取り扱いを開始しました。

SDGs関連ファンド ラインナップの一例

- ・ダイワSociety 5.0関連株ファンド
- ・世界インパクト投資ファンド
- ・アライアンス・バーンスタイン・世界SDGs株式ファンド
- ・社会課題解決応援ファンド
- ・グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド
- ・フード・イノベーション厳選株式ファンド
- ・グローバル全生物ゲノム株式ファンド
- ・フィデリティ世界医療機器関連株ファンド



ファンドの詳細はこちらから



お預け入れが社会貢献「応援定期預金」



大和ネクスト銀行では、「応援定期預金」にお預入れいただいた残高に一定割合を乗じた金額を、大和ネクスト銀行が4つのテーマに沿って選定した10以上の団体へ寄付しています。

2021年3月末現在、残高は約1,348億円となっています。その結果、2021年4月(2020年度下期分)には、過去最高の1,319万円の寄付をすることができました。なお、累計の寄付金額は、約4,100万円です。

お客様からは、「社会課題を知る良いきっかけになった」「同様の取組みがもっと広がると良いと思う」などのお声をいただいています。今後も、預金を通じた社会課題解決への取組みを進めていきます。

定期預金を通じて応援できる活動例

環境保護、障がい者スポーツ支援、子どもの医療支援、貧困等の状態にある子どもの自立支援



再生可能エネルギーへの投資



大和エネルギー・インフラ株式会社は、再生可能エネルギーへの投資を通じて、新たなエネルギーシステムの構築等による社会課題の解決を目指しています。

北海道白老町において開発を進めてきた太陽光発電所が、2020年10月に完工しました。出力規模約35MWと、同社が保有する発電所の中で最大規模の発電所となりました。



発電所の全景



人生 100 年時代を誰もが豊かに過ごせる社会の実現に向け、金融のプロフェッショナルとして、多様化するお客様のニーズに合わせたソリューションの提供に取り組んでいきます。

人生100年時代

大和ACA事業承継ファンド

事業承継分野でのソリューション提供拡大



オーナーが引退期を迎える中堅中小企業のうち約半数が後継者不在といわれており、雇用やGDPの観点からみても事業承継問題は日本が抱える喫緊の社会課題です。

大和 ACA 事業承継ファンドは、オーナーにかわり企業の新たなスポンサーとなることで事業承継問題に対する解決策のひとつをご提示します。新たな企業パートナーとして、中堅中小企業が持つ優れた技術・サービスを次世代に承継するとともに、事業継続により連続性を持った技術・サービスの革新を促し、我が国の持続可能な経済発展に貢献していきます。



大和証券

ダイワのフューチャー・デザイナー ～未来のカルテ～



人生 100 年時代の到来を受けてライフプランの多様化・複雑化が進むなか、お客様一人ひとり異なる人生の目標や夢の実現に向けて、中長期的な視野から資産全体に対するコンサルティングをご提供するサービスとして、大和証券は「フューチャー・デザイナー ～未来のカルテ～」を導入しました。

「フューチャー・デザイナー」では、お客様の幅広いニーズに応えるため、「資産運用プランニング」「財産承継プランニング」「ライフプランニング」の3つのプランニングツールをご用意しています。

お客様の様々なご要望に応えるために必要となる知識の習得に向けて、CFP® や証券アナリスト等、社員の資格取得を推進しています。

それら専門知識と各種プランニングツールによる分析を活用し、ライフプランの検討や資産運用、相続対策まで、お客様の人生のあらゆるシーンでサポートを行ないます。



理想の未来は、デザインできる。

金融機能を通じた社会を豊かにするイノベーションの促進に取り組むとともに、お客様へ新たな付加価値の提供に取り組んでいきます。
 また、ハイブリッド戦略^{*}の加速化・高度化を通じた自らの変革の実現を目指します。

CONNECT

未来をつくる、1株と出会う場に



2020年7月に開業した「CONNECT」は、すべてがスマホで完結するアプリを提供する証券会社です。

1株単位で少額からの株式取引がリアルタイムでできる「ひな株」、毎日100円から投資信託の積立取引ができる「まいにち投信」をはじめ、外部企業と連携して投資ゲームアプリやポイント運用サービスも提供し、デジタルネイティブ世代が手軽に資産形成を始めやすいサービスを提供しています。

これからもイノベーションの力を活用し、デジタルネイティブ世代にとって最も身近な証券会社を目指して、新たなサービス開発を進めていきます。



Fintertech 大和フード&アグリ

グッドタイムリビング 大和証券リアルティ

お客様への「新たな価値」の提供



2018年には「Fintertech」を設立し、ブロックチェーンをはじめとする最先端のテクノロジーが普及する中、デジタルネイティブ世代に向けた次世代の金融サービスの創出に取り組んでいます。

また、「大和フード&アグリ」では、大規模かつ効率化を追求した農業の産業化を推進していくことで、日本の農業・食料分野を取り巻く社会課題に貢献することを目指しています。

さらに2019年には、高齢者向け住宅を運営する「グッドタイムリビング」を子会社化しました。高齢化の進む日本において、良質な介護施設・サービスの提供は喫緊の課題です。その中でお客様やそのご家族に信頼できる高齢者向け住宅をご紹介します、安心して充実したセカンドライフを、より広範囲にわたってサポートしていきます。

2021年4月には、多様化するお客様の不動産投資ニーズにお応えしていくため「大和証券リアルティ株式会社」を設立しました。現在大和証券グループで提供しているREIT（不動産投資信託）とは異なる形態の不動産投資商品を企画・組成していきます。



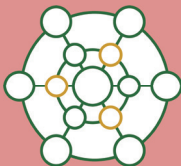
大和フード&アグリのとまと栽培の様子



大和証券リアルティの販売対象物件イメージ

※ハイブリッド戦略とは

証券業を核としながら、シナジーのある新規ビジネスへと事業ポートフォリオを拡大することで、収益基盤の拡大、収益の安定性向上を目指す戦略



多様な個性を認め合い、誰もが活躍できる社会の実現に向けて貢献していきます。加えて、一人ひとりの社員が個性を発揮し、働きがいを感じられる組織の構築に引き続き注力します。

働きがいを感じられる 職場環境の整備



大和証券グループでは、全ての社員が最大のポテンシャルを発揮しながらチャレンジできる職場環境の整備をさらに進め、お客様へ付加価値の高いサービスをご提供できるよう取り組んでいます。

女性活躍推進においては、取締役に占める女性の比率を2030年までに30%以上にするを目標とし、大和証券では2025年度までの目標を設定しています。

継続的な取り組みが評価され、当社グループは女性活躍推進に優れた上場企業として、「なでしこ銘柄[※]」に7年連続で選定されています。

また、当社グループでは、障がいのある社員が幅広く活躍できるよう、2011年度からは募集する職制を総合職、エリア総合職およびカスタマーサービス職に拡大し、入社後も、職制転向の機会を設けるなど、社員のキャリアアップを支援しています。2018年からはより一層活躍できるよう「Daiwa LEAP Plan[※]」を導入しました。

※「なでしこ銘柄」と「健康経営銘柄」は、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定

※「Daiwa LEAP Plan」は、通院のための休暇制度、就業サポート費用の補助、障がいに応じたサポートツールの導入等包括的な支援



LGBTに関する理解の促進



新入社員や昇格者などの研修で、LGBTのテーマを取り上げ、受講者の累計は約5,000名になります。また、毎年実施する全社員向け「人権啓発研修会」でもLGBTについて取り上げて理解促進を図っています。さらに、性別を移行する社員には休暇取得や周囲の社員等への理解が進むよう人事部がサポートしています。

大和証券のお客様向けサービスの一部で、LGBTの同性パートナーの方もご家族の一員とみなし、サービスをご利用いただけるように拡充しています。

ダイバーシティ&インクルージョン WEB サイト



健康経営の取り組み



社員がより健康にそして安全に業務が遂行できるよう、2020年より社内においてオンライン診療「ダイワオンラインケア」を開始しました。

当社グループは、社員の健康保持・増進を経営的な視点で捉え積極的に取り組んでおり、「健康経営銘柄[※]」に7年連続で選定されています。



海外拠点における取り組み

海外の各拠点においても、ダイバーシティ&インクルージョンを積極的に推進しており、DCアドバイザー（米国、欧州）では、2021年の国際女性デーに際し、職場やビジネスにおけるジェンダー平等の推進と女性の活躍に関する#ChooseToChallengeキャンペーンのビデオメッセージを制作しました。

ビデオメッセージはこちらから



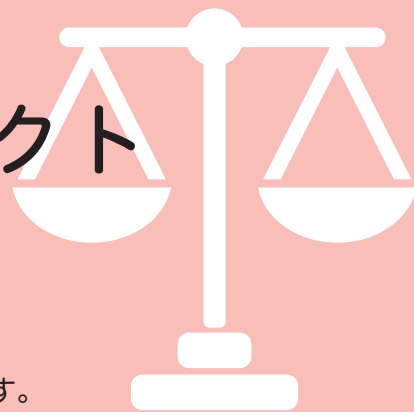
1 貧困をなくそう



10 人や国の不平等をなくそう



こども スマイルプロジェクト



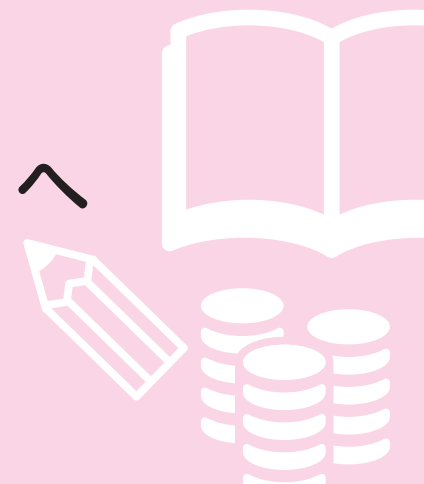
資本主義によって生み出された格差問題のうち、特に子どもの貧困問題にアプローチするため、「大和証券グループ 夢に向かって！こどもスマイルプロジェクト」に取り組んでいます。

4 質の高い教育をみんなに



お金についての 知識を幅広い世代へ

幅広い世代のお金に関する知識を広め、市場のお金の流れを活発にすることが、未来の金融市場の活性化につながると考え、多様な学びの機会を提供しています。



2017年よりスタートした「こどもスマイルプロジェクト」では、今年度から2つの基金を運営しており、この度、各基金の採択団体を決定しました。

「大和証券グループ 輝く未来へ こども応援基金」

当基金は、子どもの環境改善や貧困の連鎖防止を目的に2017年9月に創設されました。

2020年度からは継続して助成する団体のみを選出することとし、有識者による審査委員会のオンライン面談審査の結果、4団体が採択されました。

「大和証券グループ未来応援ボンド こども支援団体サステナブル基金」

2020年10月、「大和証券グループ未来応援ボンド」から1億250万円を拠出し公益財団法人パブリックリソース財団と協働で当基金を設立しました。

非常時にも子どもたちへの支援ができるよう、団体の持続可能性とレジリエンス向上を目的にしており、初年度は8団体が選ばれました。

「こどもスマイルプロジェクト」WEB サイト



「おしごととはくぶつかん」への協力

小・中学生向けキャリア教育教材「おしごととはくぶつかん」に協力しています。子どもたちが主体的に進路を決められるよう、「おしごと年鑑」「おしごととはくぶつかん WEBサイト」「EduMall(教育コンテンツサービス配信)」を提供しており、書籍版「おしごと年鑑」は学習指導要領に対応しています。

「おしごととはくぶつかん」WEB サイト



ダイワインターネットTV

どなたでも無料で視聴できる「ダイワインターネットTV」を自社スタジオで制作し、経済・社会および投資に関する多様な情報を、タイムリーに配信しています。

ダイワインターネット TV



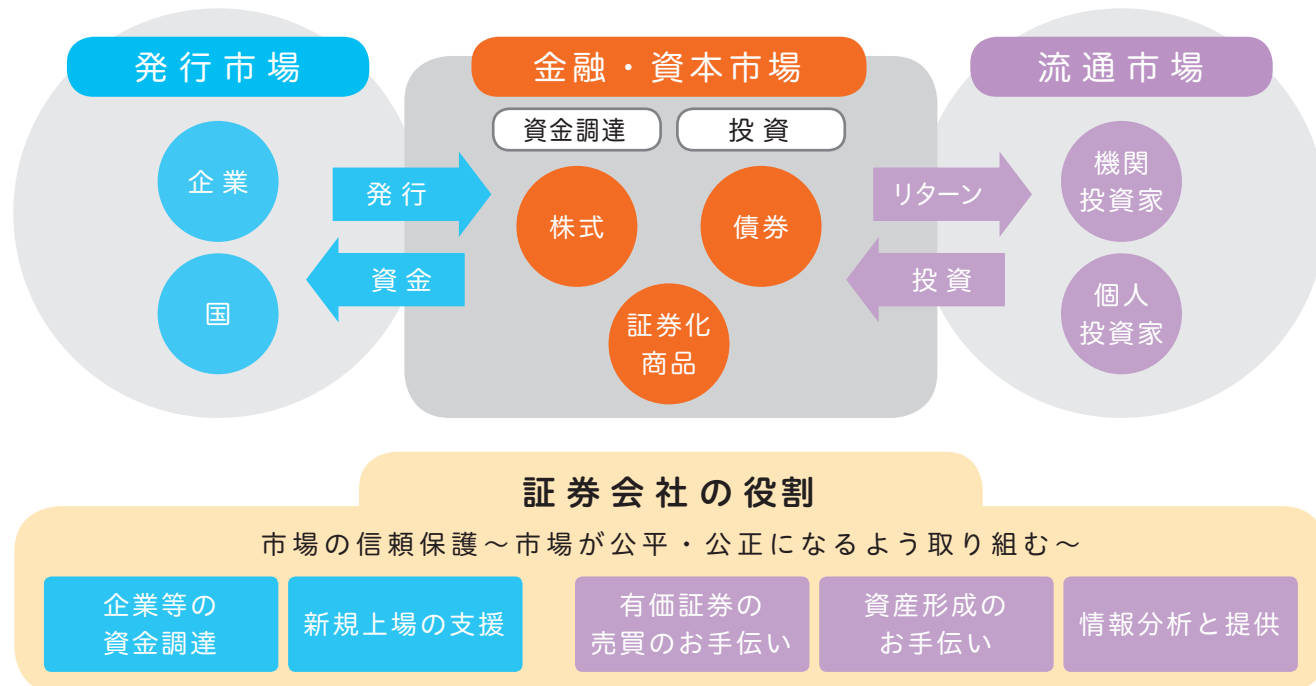


健全な 金融資本市場を支える

資金を必要とする企業を応援し、
資金の流れを生み出すサポートをしています。
活発で安定した金融市場づくりに貢献して
社会基盤を支え続けます。



大和証券グループの考える、社会のなかでの証券会社の役割



証券会社の力に

期待すること

社会が抱える課題について、解決のために少しでも力になることを願って—。
大和証券グループでは、地域社会や市民社会とともに考え、取り組んでいます。
立教大学社会デザイン研究所所長の中村陽一氏よりご意見をお寄せいただきました。



立教大学
21世紀社会デザイン研究科教授
社会デザイン研究所所長
中村陽一氏

利他性にもとづく共感資本社会の構築へ 証券会社の力に大きく期待

SDGs に関して忘れてはならないのは、17の分野別目標と169のターゲットの個別追求にとどまらず統合された実行が必要とされている点です。環境指標が実現されなければ、社会経済指標の土台は崩れてしまいます。人類が生み出したシステムによりもたらされた危機に取り組むには、経済活動が前提としてきた枠組みの変更へ向けての企業間の協働に加え、セクターの壁を超えた協働が求められます。

短期的な実利優先を超えて新しい発想の投資を呼び込めるブルー・エコノミーやサーキュラー・エコノミーなど「人新世」のビジネスの構築と実現は、コロナ禍においてますます最重要課題の一つになって来たといっても過言ではありません。さらに、私も審査に関わらせていただいた「こども支援団体サステナブル基金」なども併せ、利他性にもとづく共感資本社会の構築へとつながりうる証券会社の力に大きく期待したいと思っています。